

《総合型クラブ設立の効果》

元気な高齢者が増えた
地域住民のスポーツ参加機会が増えた
地域住民間の交流が活性化した
世代を超えた交流が生まれた
複数のスポーツ種目に取組む住民増加
子どもたちが明るく活発になった
地域で子どもの成長を見守る気運の上昇



さらに

- ・地域住民が主体的に地域のスポーツ環境
を形成する「新しい公共」が実現
- ・運動不足の解消による過剰医療費の抑制に寄与
- ・学校の授業・部活動への支援を通じて、
コミュニティスクールへの発展に寄与

等の社会的な効果が期待されています。

【発行元】みえ広域スポーツセンター

三重県地域連携部 国体・全国障害者スポーツ大会局 スポーツ推進課内

〒514-8570 三重県津市広明町13番地（本庁2F）

TEL : 059-224-2986 FAX : 059-224-3022

E-mail : m-kouiki@pref.mie.lg.jp

<http://www.pref.mie.lg.jp/D1SPORTS/73545045197.htm>

Facebook : <https://www.facebook.com/mie.kouiki.sc/>



総合型地域 スポーツクラブ



みえ広域スポーツセンター



地域住民が自主的に運営し、

複数のスポーツ・文化活動を選べ、

子どもから高齢者まで誰でも参加でき、 **[多世代]**

興味・関心、目的に合わせて活動できる。 **[多目的]**



それが、



「総合型地域スポーツクラブ」です。



[多種目]

～総合型クラブの様々な必要性～

- スポーツ少年団や中学校運動部活動の停滞
(少子化、指導者の高齢化等)
- 子どもの居場所づくり(放課後、週5日制の受け皿)
- 中学校の部活動に希望する種目がない
- 大人になって気軽にスポーツをする場所がない
- 学校開放を利用したいが空きがない
- 既存のサークルは希望する種目がない、
または一定のレベル以上でないと入りにくい
- 日常生活での運動不足、生活習慣病などの健康不安
- お年寄りの居場所づくり、生きがいづくり
- 育児や介護による精神的ストレスの増大
- 介護・医療費の増大
- 地域社会での人間関係の希薄化、地域社会の機能低下
- 子どもたちに対する地域の教育力の低下
- 行政のスポーツ推進施策の一環として



総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）は、
「いろいろなスポーツを」「世代をこえて誰もが」「目的に応じて」
楽しむために、地域の方々が主体となって運営しています。

平成7年から文部省により総合型クラブの育成施策が開始、平成12年策定のスポーツ振興基本計画、さらに平成24年策定のスポーツ基本計画において各市町村での育成が示され、全国各地に設立されました。

現在、スポーツ庁により総合型クラブの育成が推進され、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしています。

三重県では平成22年度に「みえ広域スポーツセンター」を設置し、総合型クラブの創設や運営に関する支援、総合型クラブ間の連携・交流を図る事業等を行っています。

**地域
住民**

会員として活動への参加

クラブ運営への参画

(クラブマネジャー・運営役員・指導者・ボランティアスタッフなど)



- 自分のやりたい種目に
- 複数の種目に

- 幼児から高齢者まで
- 親子で、家族で、仲間と

- 自分が楽しめるレベルで
- 自分の目的に合わせて

会費を支払う（受益者負担）

総合型クラブ

- ・スポーツ教室
- ・文化教室
- ・サークル活動
- ・イベント

